

各 位

福岡県福岡市博多区博多駅前三丁目2番8号
株式会社アイフリークモバイル
代表取締役社長 上原 彩美
(コード番号: 3845 JASDAQ)
問い合わせ先 取締役兼管理部長 紀伊 克彦
電話番号 092-471-5211 (IR)
U R L <http://www.i-freek.co.jp/>

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表の「平成 30 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、安定した収益力の確保については時期尚早と捉え、平成 26 年 3 月期第 1 四半期から平成 30 年 3 月期第 3 四半期までの間、決算短信に継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在する旨を記載しておりました。この期間、全社的な業務効率化による一層の経費削減や不採算プロジェクトからの撤退、新規事業の創造と早期収益化等を実施し、利益率の改善及び財務基盤の強化と安定のための施策を着実に進めてまいりました。今後につきましても、モバイルコンテンツ事業の持続的な成長、CCS 事業の更なる拡大、IP 事業での「ミライッポ Startup IPO」サイトのリニューアルオープンと運営を計画しており、これらの事業は、継続的且つ安定的な収益力を高め、当社の成長戦略を更に紡いでいくと確信するに至っております。

資金面につきましても、平成 30 年 3 月期末日における「現金及び預金」の残高は 383,217 千円を有しており、取引金融機関とも良好な関係を維持しております。また、平成 30 年 3 月 29 日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行及び第 15 回新株予約権の発行を決議し、同年 4 月 16 日に総額 250,244 千円の払込みを受けております。今後も同新株予約権の行使により 711,420 千円の資金調達を見込んでおり、運転資金及びプラットフォーム等の開発資金は十分に有しております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消したと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を行わないことといたしました。

株主、取引先の皆様をはじめとするステーク・ホルダーの皆様には、多大なるご心配をお掛けいたしましたでしたが、今後も更なる業績及び企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以 上